

防災の日

あなたは何をしますか？



防災の日とは

1923年に関東大震災が起こった9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」とされています。この機会に今一度、防災に対する意識を高め、まずはできることから取り組みましょう。

● 阪神・淡路大震災(1995年)

地域での助け合い(共助)が重要だと感じた。

● 東日本大震災(2011年)

大津波や液状化現象による被害があったため、周辺の被災リスクの把握は必須！

災害から学ぶ

● 熊本地震(2016年)

自宅の耐震性を強化するとともに、災害関連死を防ぐためにも十分な備蓄を！

● 能登半島地震(2024年)

震源地が半島の先端部で、速やかな情報収集や救助・救援が難しかった。

① 大規模災害が発生すると、

市が一人ひとりの状況に合わせて支援するのに時間がかかる場合があります。被害を最小限に抑えるために、平常時から“自分の命、安全は自分で守る”意識を持つことが重要です。「何をどれだけ備蓄するか」「いつどのように避難するのか」**最終的な行動は「あなた」に任されています。**

では、あなたの家族を守ることができるのは…？

まずは身近なところから、防災を意識してみましょう。日常生活のほんの少しの工夫が、いざというときの防災対策に繋がります！



Check!

☑ 家族やご近所と会話していますか？

日頃から防災マップを活用して、近隣の避難場所や危険箇所などを確認するとともに、災害時の連絡方法を家族や地域のみなさんと話し合っておきましょう。

いざという時に助け合えるようなご近所付き合いを大切に、まずはあいさつから始めましょう！



☑ あなたのおうちは安全ですか？

自宅の内外を見て、耐震性の強化や家具転倒防止を検討してみましょう。家具の配置を変えるだけでも安全対策になります。

本市では家具転倒防止支援事業の補助(P.12)をはじめ、さまざまな防災支援を行っています。



☑ 平常時と非常時を切り離して考えていませんか？

「備蓄」と聞くと難しく感じますが、普段から必要量より少し多めに買い置き、消費した分だけ買い足すことで、常に一定の食料を備蓄できます。

今すぐ 備蓄チェックを!!

準備リストは市HPへ。



☑ 災害情報に耳を傾けていますか？

本市では、災害時にさまざまな方法で情報発信を行っています。

➤ 防災行政無線

市内10か所にある防災行政無線の屋外子局からサイレンや音声放送によりお知らせします。

➤ 安心メールプラス

市公式LINE・メールにより、地震や気象に関する防災情報を配信しています。

登録方法等詳細は市HPへ。



訓練に参加しよう!

1 あいち総ぐるみシェイクアウト訓練

9月1日(日)正午の時報を合図に、県内全域で1～3を各自で約1分間実施します。

1 姿勢を低く



2 頭を守り



3 じっとする



2 市内一斉防災訓練

11月17日(日)9:00～各家庭で行う「おうちで防災訓練」と、地域が企画する「地域防災訓練」を実施します。「おうちで防災訓練」では安否の提出を行い、無事であることを近所に知らせましょう。

ぜひご参加ください!

